

在宅医療に関するアンケート

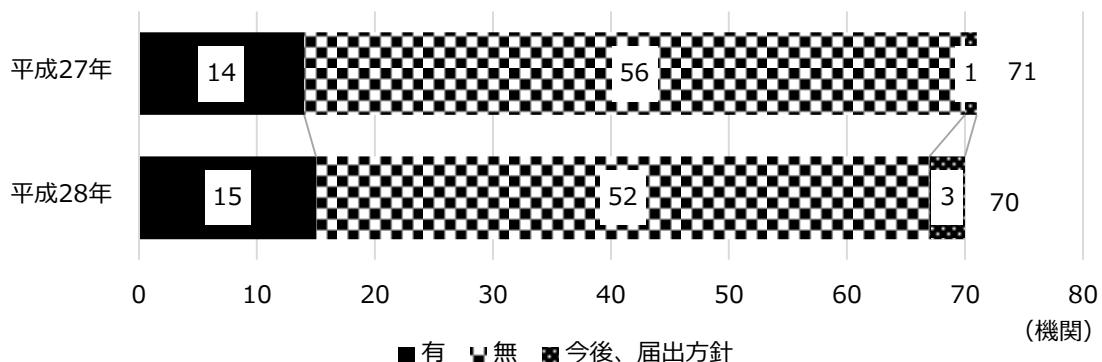
- 1 調査対象：豊川市内の病院（11）・診療所（71）計82機関
- 2 調査期間：平成28年9月
- 3 回収数：81機関（有効標本回収率：98.8%）
- 4 報告書の見方：
 - ・比率は、すべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が100にならないことがあります。
 - ・基数となるべき実数は、n（number of caseの略）として掲載しました。本文中の比率は、すべてnを100として算出しています。
 - ・本報告書の表、グラフ等の見出しおよび文書中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
 - ・自由回答やその他については、基本的に回答をそのまま表記しています。
 - ・平成26年8月に豊川市が行ったアンケートおよび平成27年9月に本医師会が行ったアンケートと同項目については、比較として掲載しました。

I 訪問診療及び往診について

診療所

1 在宅療養支援診療所の届け出状況をお答えください。（n=70）

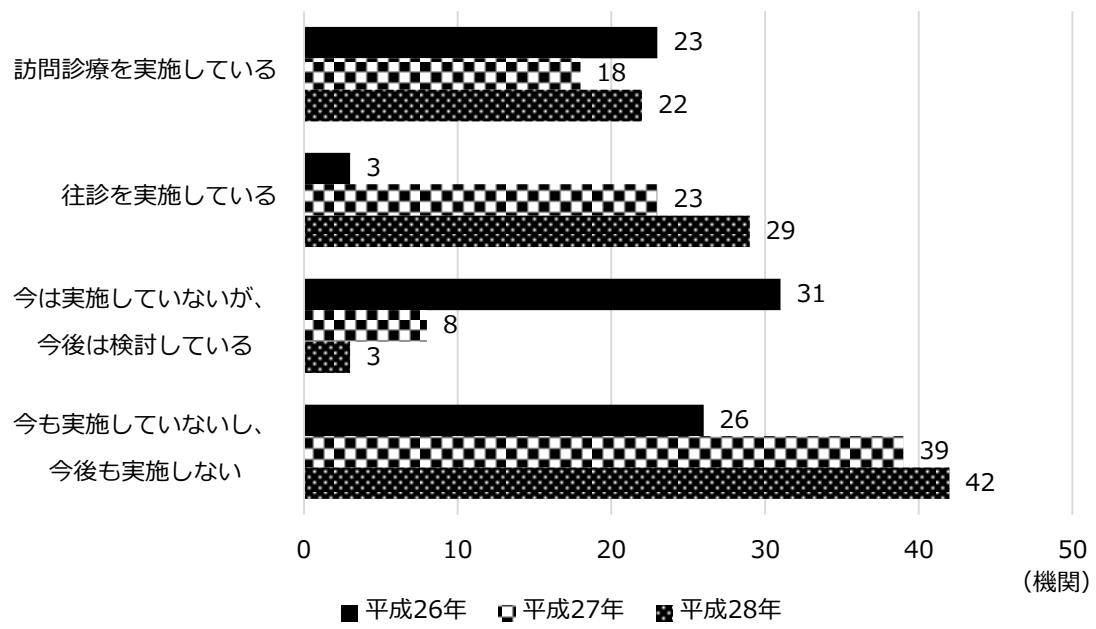
在宅療養支援診療所の届け出状況 平成27、28年の比較



	平成27年	平成28年
有	14 (19.7%)	15 (21.4%)
無	56 (78.9%)	52 (74.3%)
今後、届出方針	1 (1.4%)	3 (4.3%)
合計	71 (100.0%)	70 (100.0%)

2 訪問診療（往診）を実施していますか。

訪問診療（往診）の実施状況 平成26～28年の比較

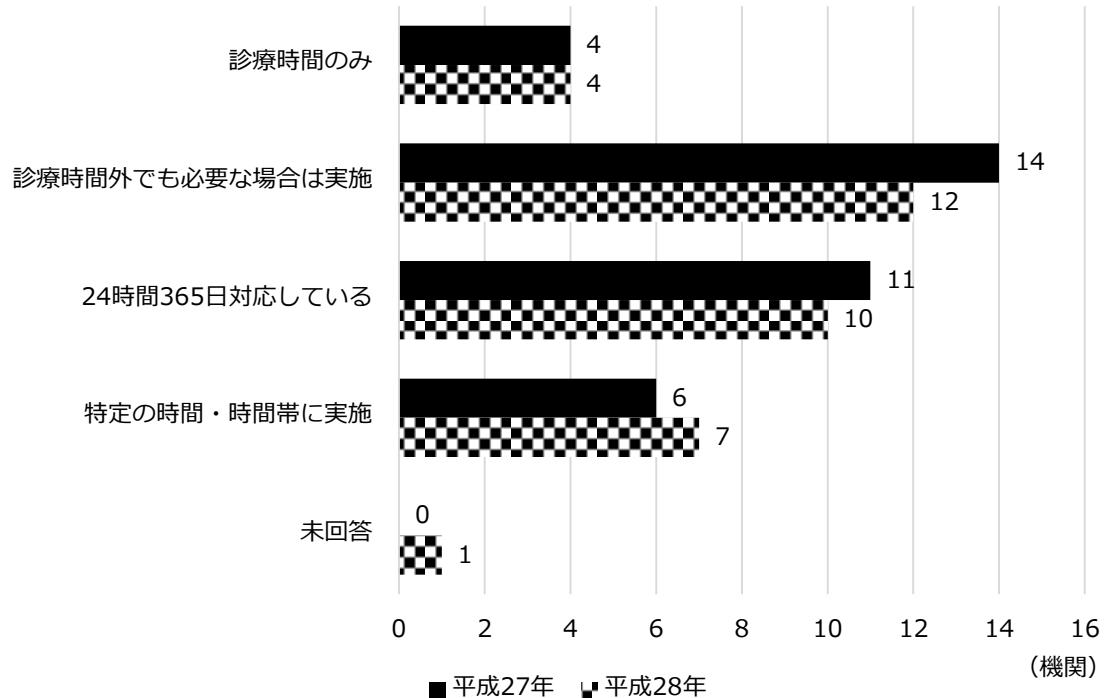


	平成26年	平成27年	平成28年
訪問診療を実施している	23 (27.7%)	18 (20.5%)	22 (22.9%)
往診を実施している	3 (3.6%)	23 (26.1%)	29 (30.2%)
今は実施していないが、今後は検討している	31 (37.3%)	8 (9.1%)	3 (3.1%)
今も実施していないし、今後も実施しない	26 (31.3%)	39 (44.3%)	42 (43.8%)
合計	83 (100.0%)	88 (100.0%)	96 (100.0%)

※ 本設問は、単一回答ですが、複数回答された医療機関に関しても、そのまま集計しています。

3 実施時間はいつですか。(n=34)

訪問診療（往診）の実施時間 平成27、28年の比較



	(機関)	
	平成27年	平成28年
診療時間のみ	4 (11.4%)	4 (11.8%)
診療時間外でも必要な場合は実施	14 (40.0%)	12 (35.3%)
24時間365日対応している	11 (31.4%)	10 (29.4%)
特定の時間・時間帯に実施	6 (17.1%)	7 (20.6%)
未回答	0 (0.0%)	1 (2.9%)
合計	35 (100.0%)	34 (100.0%)

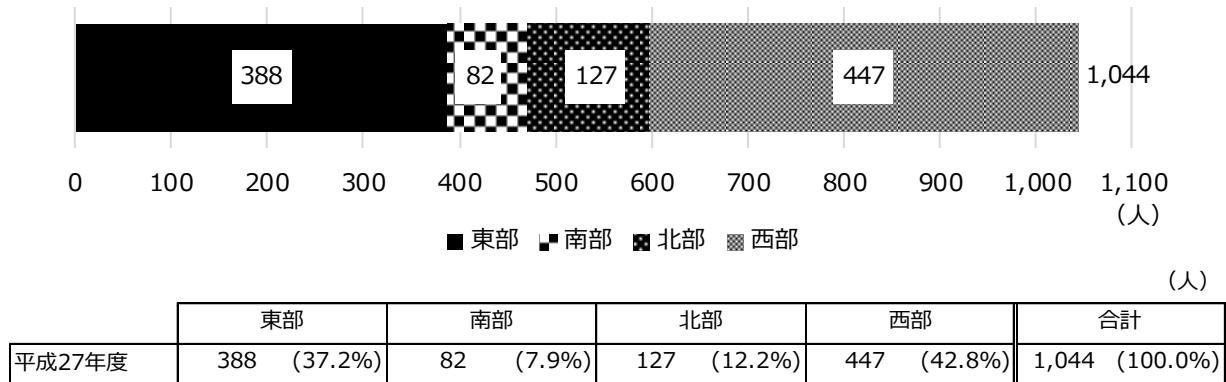
平成28年のアンケートで「特定の時間・時間帯に実施」と回答された医療機関による自由意見

- ◆定期的に月1回のみ ◆診療時間外 ◆毎週水曜日
- ◆隔週水曜午前診終了後 ◆13時～16時

I-2で「訪問診療を実施している」と回答された病院・診療所

4 訪問診療を実施した患者数は、平成27年度何人でしたか。

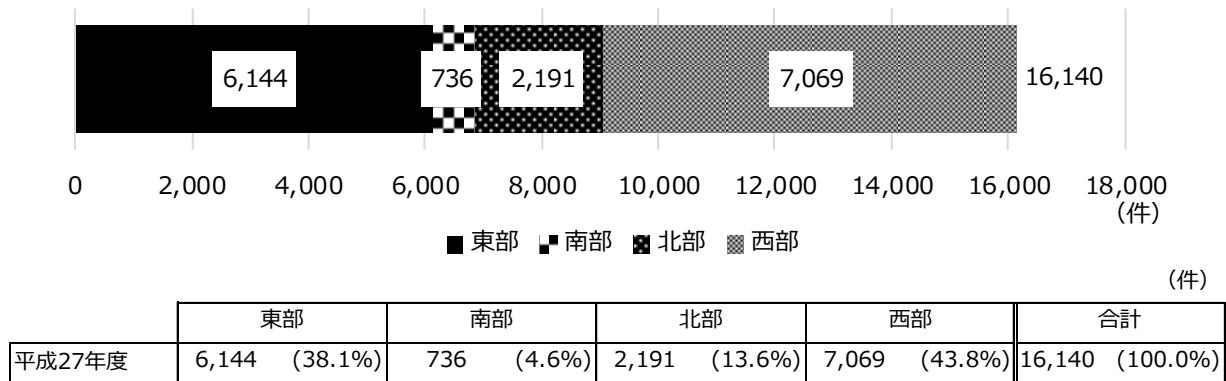
訪問診療実施患者数



I-2で「訪問診療を実施している」と回答された病院・診療所

5 訪問診療を実施した件数は、平成27年度何件ありましたか。

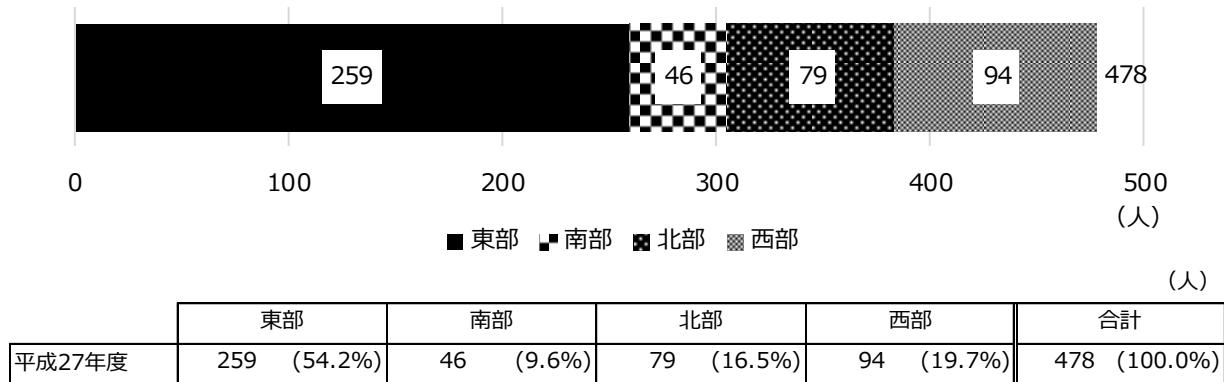
訪問診療実施件数



I-2で「往診を実施している」と回答された病院・診療所

6 往診を実施した患者数は、平成27年度何人でしたか。

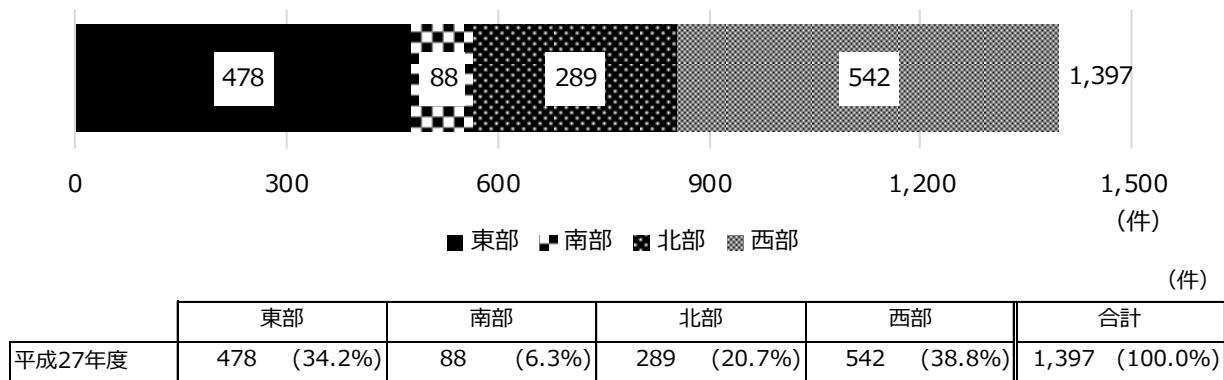
往診実施患者数



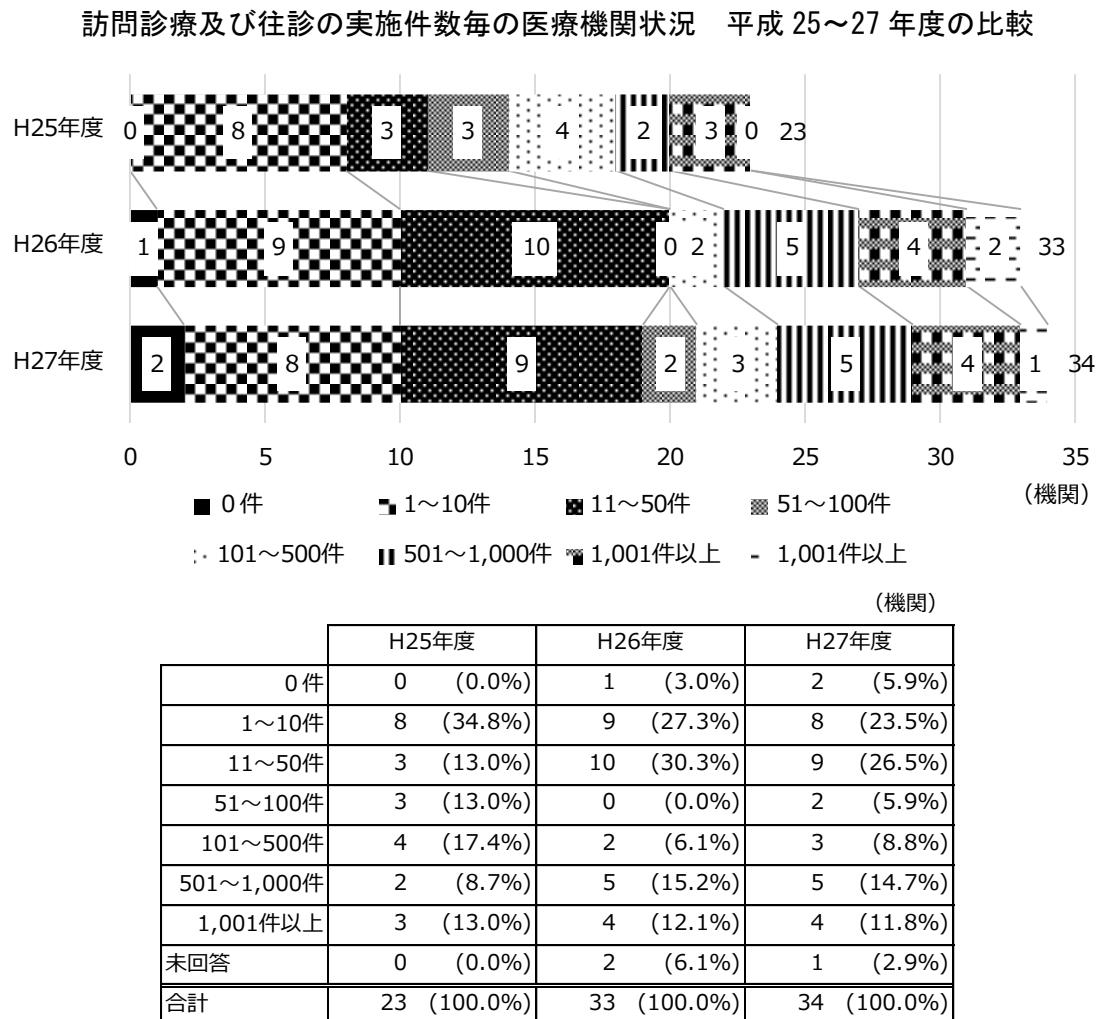
I-2で「往診を実施している」と回答された病院・診療所

7 往診を実施した件数は、平成27年度何件ありましたか。

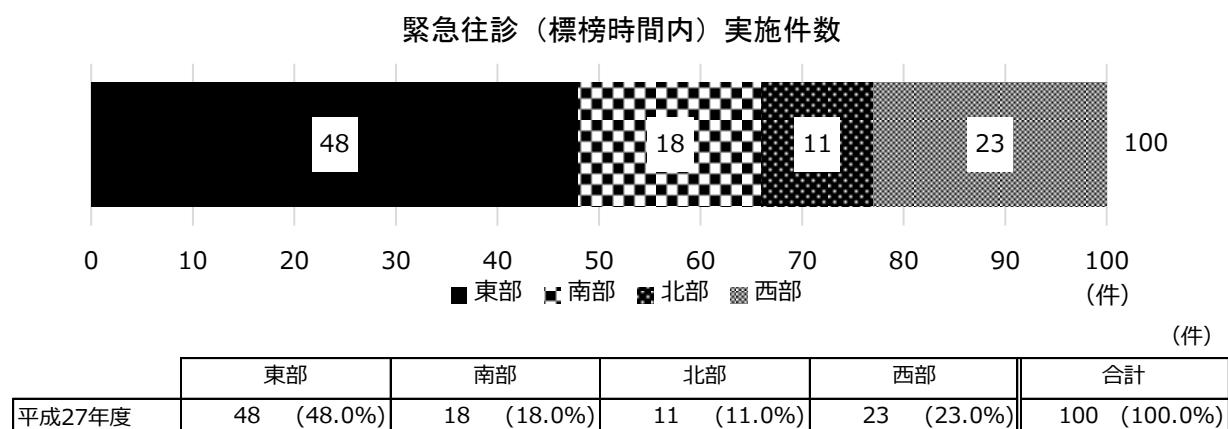
往診実施件数



8 訪問診療及び往診の実施件数毎の医療機関状況

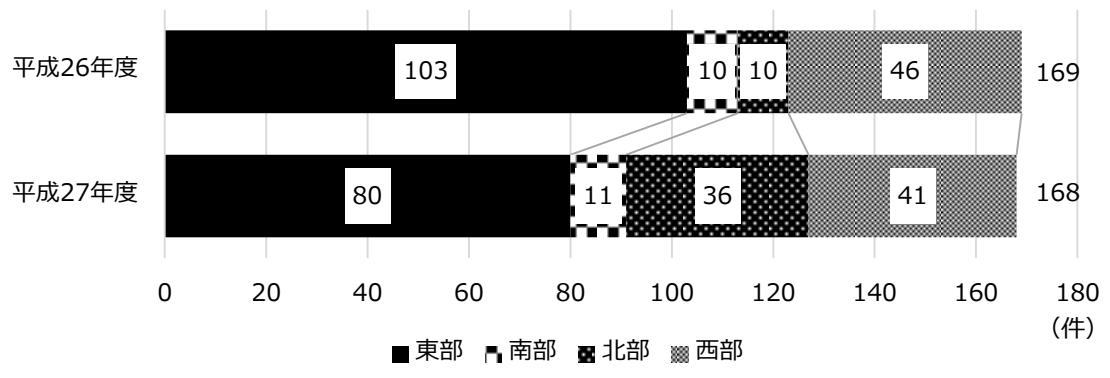


9 緊急往診（標準時間内）を実施した件数は、平成27年度何件ありましたか。



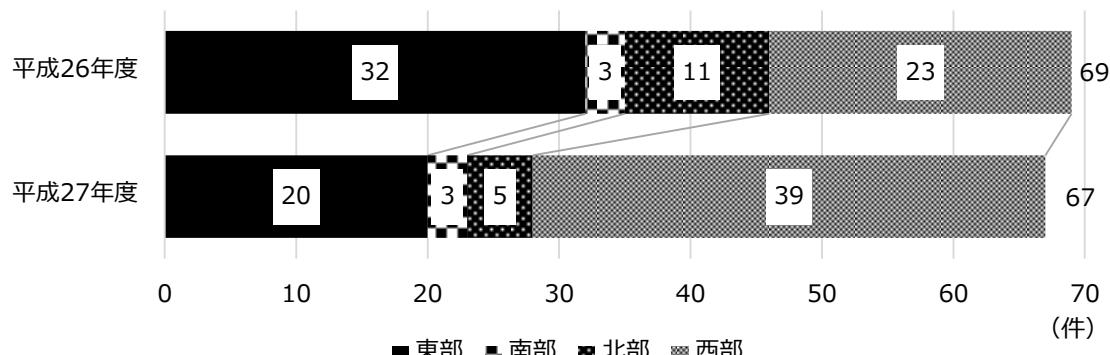
10 夜間往診及び深夜往診を実施した件数は平成27年度何件ありましたか。

夜間往診の実施件数 平成26、27年度の比較



	東部	南部	北部	西部	合計
平成26年度	103 (60.9%)	10 (5.9%)	10 (5.9%)	46 (27.2%)	169 (100.0%)
平成27年度	80 (47.6%)	11 (6.5%)	36 (21.4%)	41 (24.4%)	168 (100.0%)

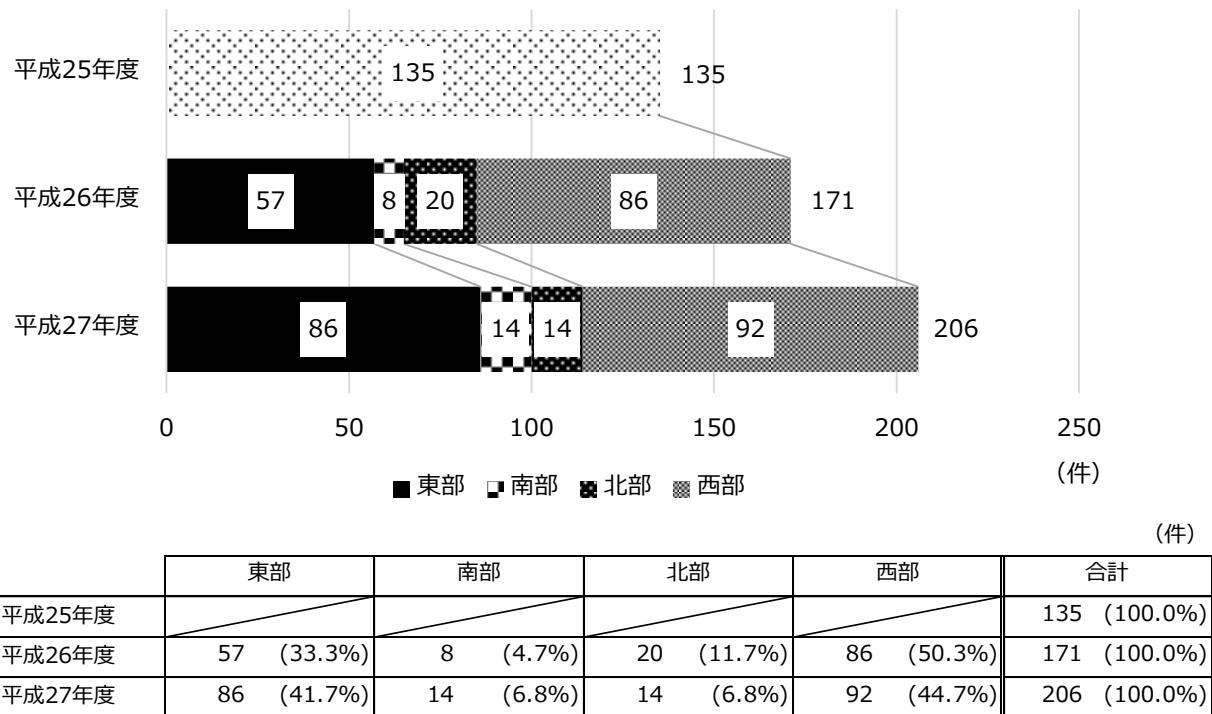
深夜往診の実施件数 平成26、27年度の比較



	東部	南部	北部	西部	合計
平成26年度	32 (46.4%)	3 (4.3%)	11 (15.9%)	23 (33.3%)	69 (100.0%)
平成27年度	20 (29.9%)	3 (4.5%)	5 (7.5%)	39 (58.2%)	67 (100.0%)

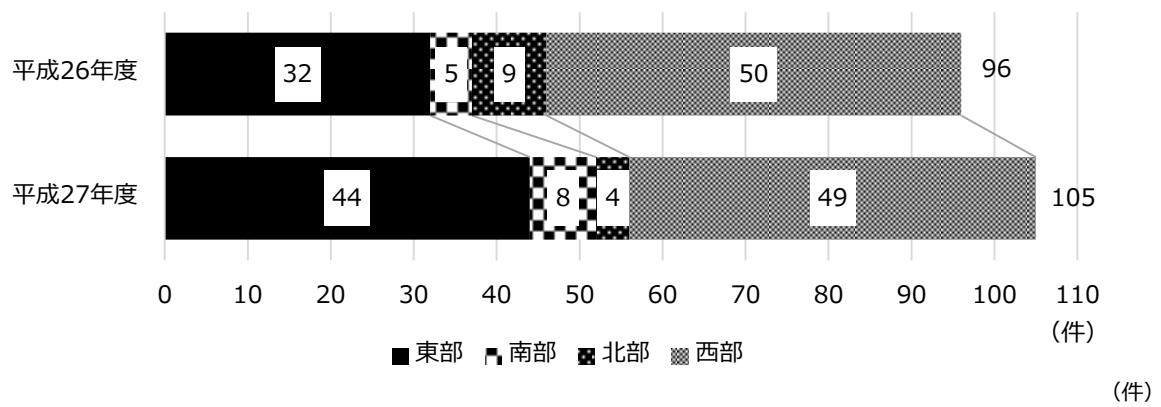
11 市内全体の看取り件数

市内全体の看取り件数 平成25~27年度の比較



12 同一建物居住者以外の看取り件数は、平成27年度何件ありましたか。

同一建物住居者以外の看取り件数 平成26、27年度の比較



I-2で「訪問診療を実施している」「往診を実施している」と回答された病院・診療所

13 同一建物居住者以外の看取りのうち、独居数は平成27年度何件ありましたか。

同一建物居住者以外の看取りのうち独居数 平成26、27年度の比較

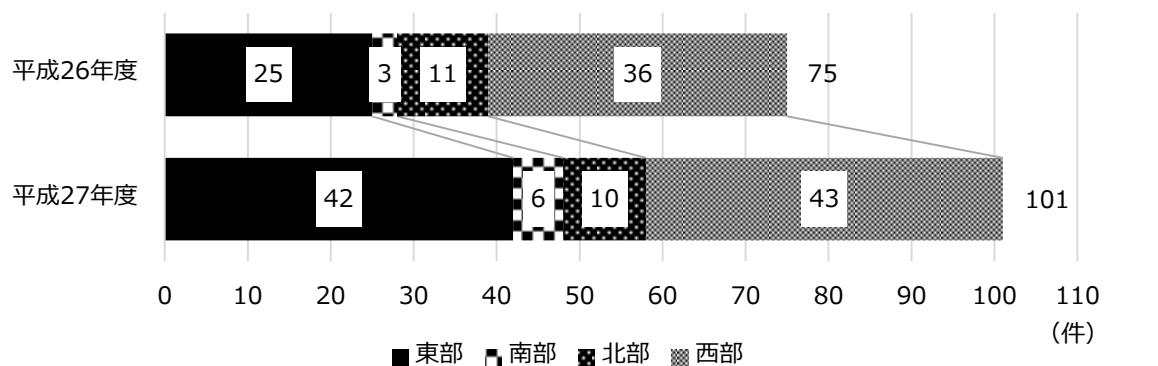
(件)

	東部	南部	北部	西部	合計
平成26年度	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	4 (100.0%)
平成27年度	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)

I-2で「訪問診療を実施している」「往診を実施している」と回答された病院・診療所

14 同一建物居住者の看取り件数は、平成27年度何件ありましたか。

同一建物居住者の看取り件数 平成26、27年度の比較



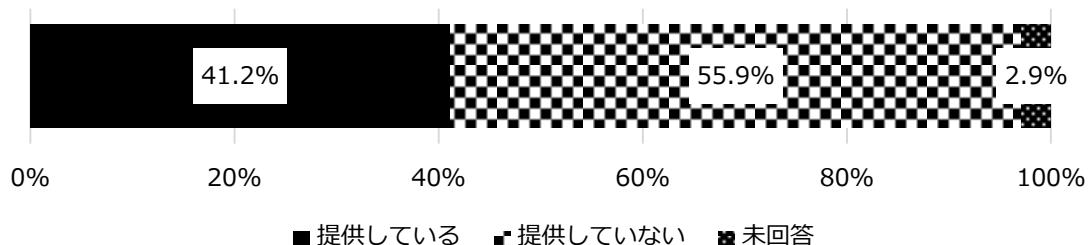
(件)

	東部	南部	北部	西部	合計
平成26年度	25 (33.3%)	3 (4.0%)	11 (14.7%)	36 (48.0%)	75 (100.0%)
平成27年度	42 (41.6%)	6 (5.9%)	10 (9.9%)	43 (42.6%)	101 (100.0%)

I-2 で「訪問診療を実施している」「往診を実施している」と回答された病院・診療所

15 緩和ケアを提供していますか。(n=34)

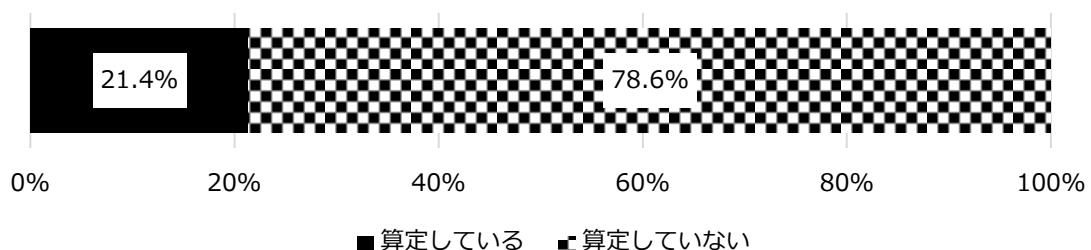
緩和ケアの提供



I-15 で「提供している」と回答された病院・診療所

16 在宅緩和ケア充実診療所・病院加算を算定していますか。(n=14)

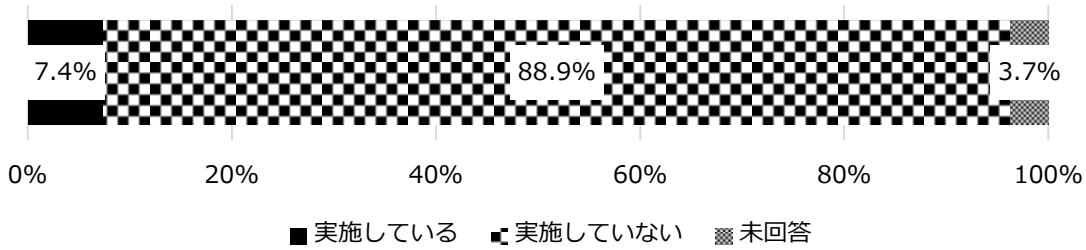
在宅緩和ケア充実診療所・病院加算



I-2で「訪問診療を実施している」「往診を実施している」と回答された診療所

17 小児在宅医療を実施していますか。(n=27)

小児在宅医療の実施



(機関)					
	東部	南部	北部	西部	
実施している	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (7.4%)
実施していない	8 (100.0%)	7 (87.5%)	5 (100.0%)	4 (66.7%)	24 (88.9%)
未回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (3.7%)
合計	8 (100.0%)	8 (100.0%)	5 (100.0%)	6 (100.0%)	27 (100.0%)

I-17で「実施している」と回答された診療所

18 小児在宅医療を実施した患者数は、平成27年度何人でしたか。

小児在宅医療実施患者数

(人)					
	東部	南部	北部	西部	
平成27年度	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

I-17で「実施している」と回答された診療所

19 小児在宅医療を実施した件数は、平成27年度何件ありましたか。

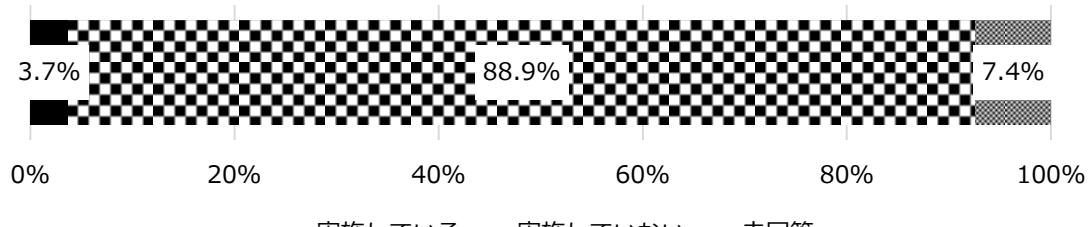
小児在宅医療実施件数

(件)					
	東部	南部	北部	西部	
平成27年度	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

I-2 で「訪問診療を実施している」「往診を実施している」と回答された診療所

20 管理栄養士による訪問栄養指導を実施していますか。(n=27)

管理栄養士による訪問栄養指導の実施



					(機関)
	東部	南部	北部	西部	合計
実施している	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)
実施していない	7 (87.5%)	8 (100.0%)	4 (80.0%)	5 (83.3%)	24 (88.9%)
未回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (16.7%)	2 (7.4%)
合計	8 (100.0%)	8 (100.0%)	5 (100.0%)	6 (100.0%)	27 (100.0%)

I-20 で「実施している」と回答された診療所

21 訪問栄養指導を実施した患者数は、平成 27 年度何人でしたか。

訪問栄養指導実施患者数

					(人)
	東部	南部	北部	西部	合計
平成27年度	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)

I-20 で「実施している」と回答された診療所

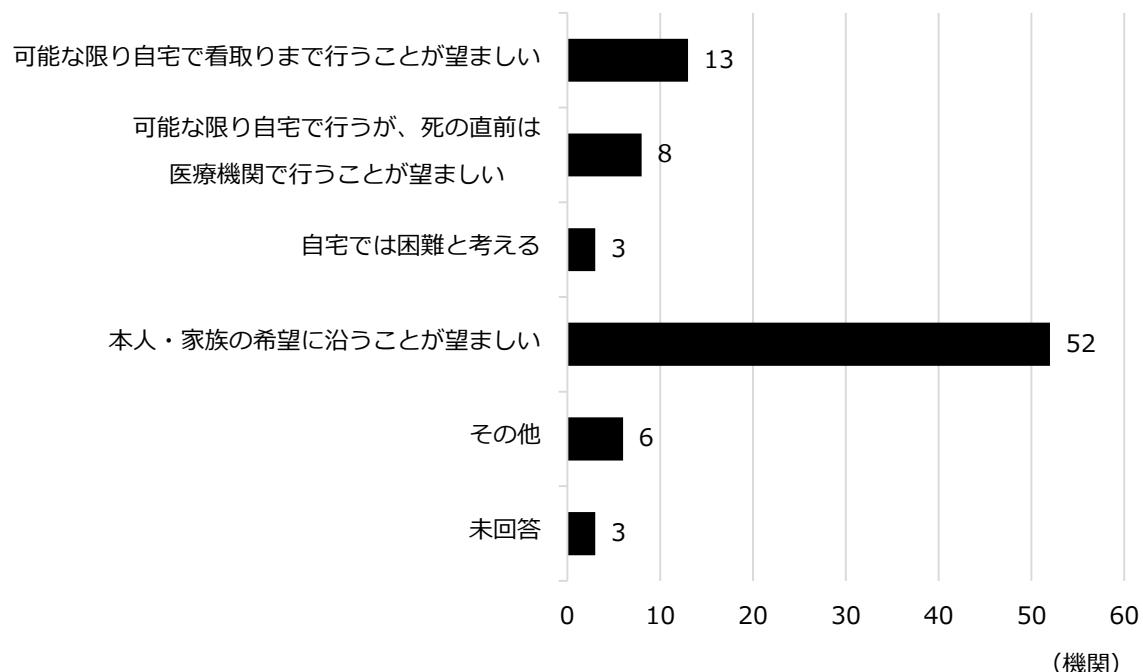
22 訪問栄養指導を実施した件数は、平成 27 年度何件ありましたか。

訪問栄養指導実施件数

					(件)
	東部	南部	北部	西部	合計
平成27年度	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)

23 終末期医療を行う場合、どの考え方方に近いですか。

終末期医療に対する考え方



	東部	南部	北部	西部	合計
可能な限り自宅で看取りまで行うことが望ましい	4 (16.7%)	2 (8.7%)	4 (22.2%)	3 (15.0%)	13 (15.3%)
可能な限り自宅で行うが、死の直前は医療機関で行うことが望ましい	1 (4.2%)	2 (8.7%)	1 (5.6%)	4 (20.0%)	8 (9.4%)
自宅では困難と考える	1 (4.2%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	3 (3.5%)
本人・家族の希望に沿うことが望ましい	17 (70.8%)	12 (52.2%)	13 (72.2%)	10 (50.0%)	52 (61.2%)
その他	1 (4.2%)	3 (13.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	6 (7.1%)
未回答	0 (0.0%)	3 (13.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.5%)
合計	24 (100.0%)	23 (100.0%)	18 (100.0%)	20 (100.0%)	85 (100.0%)

- ◆可能な限り自宅でが望ましいが、それが可能になるための社会資源や家庭事情をお持ちの方は稀だと思われる
- ◆在宅をしていないので答えられません
- ◆眼科なので、特別な考えはない
- ◆わかりません

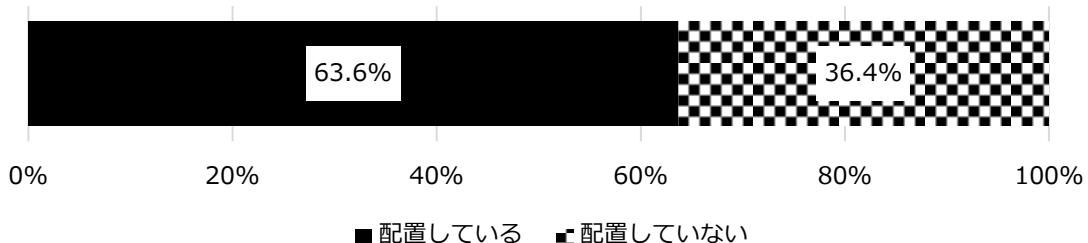
※ 本設問は、单一回答ですが、複数回答された医療機関に関しても、そのまま集計しています。

II 高齢者の在宅療養移行支援の取組みについて

病院

1 退院支援担当者を配置していますか。(n=11)

退院支援担当者の配置

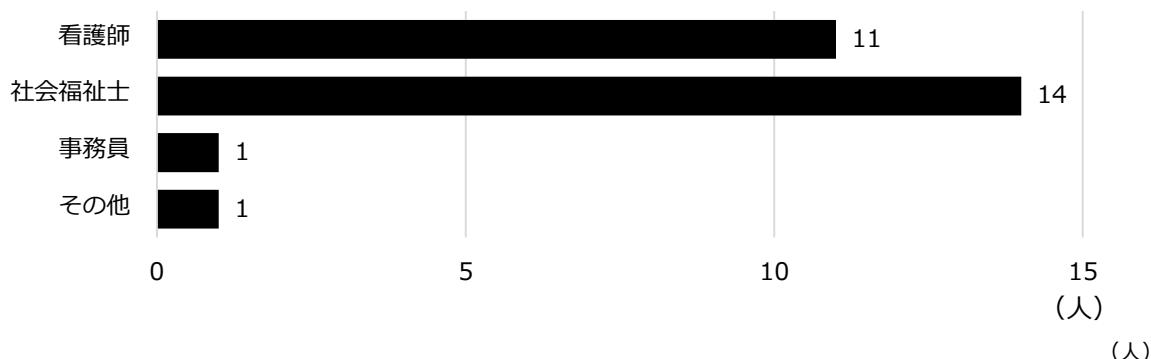


(機関)					
	東部	南部	北部	西部	
配置している	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (63.6%)
配置していない	3 (100.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)
合計	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (100.0%)	11 (100.0%)

II-1で「配置している」と回答された病院

2 退院支援担当者の職種は何ですか。

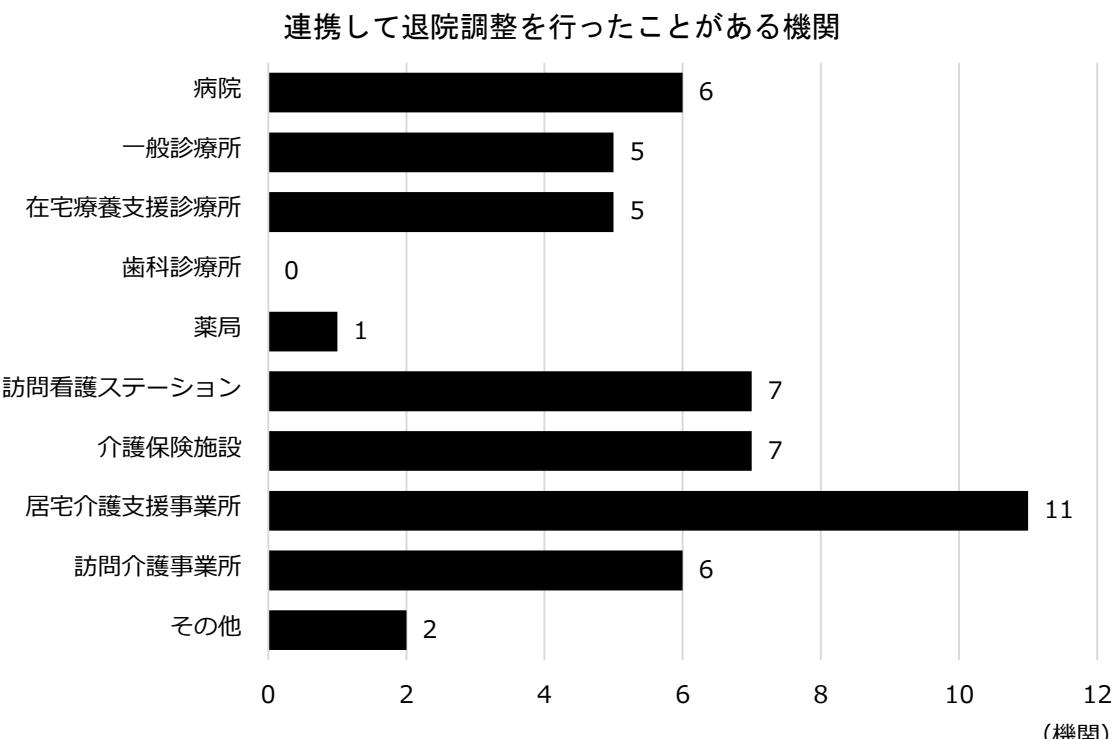
退院支援担当者の職種



	東部	南部	北部	西部	合計
看護師	0 (0.0%)	2 (33.3%)	7 (43.8%)	2 (40.0%)	11 (40.7%)
社会福祉士	0 (0.0%)	4 (66.7%)	7 (43.8%)	3 (60.0%)	14 (51.9%)
事務員	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)
合計	0 (0.0%)	6 (100.0%)	16 (100.0%)	5 (100.0%)	27 (100.0%)

◆放射線技師

3 連携して退院調整を行ったことがある機関はどこですか。(複数回答可)

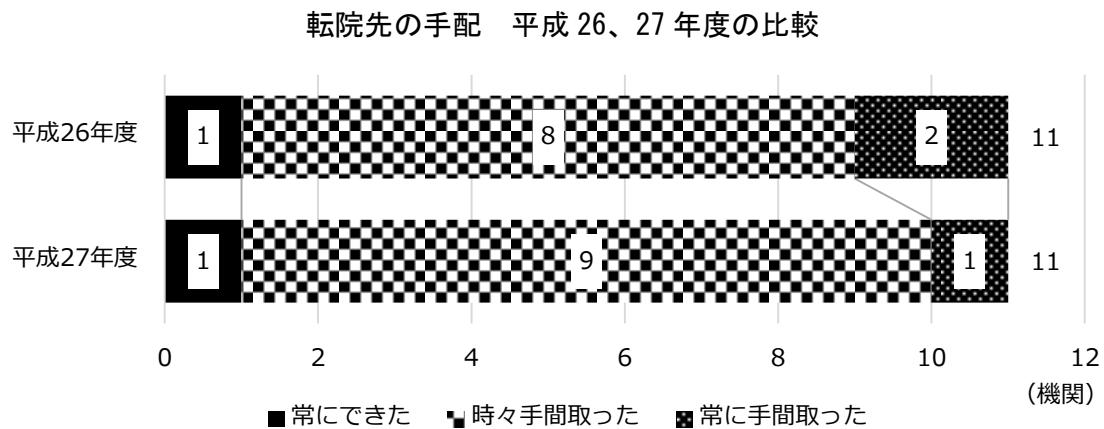


	(機関)				
	東部	南部	北部	西部	合計
病院	1 (20.0%)	2 (16.7%)	2 (10.5%)	1 (7.1%)	6 (12.0%)
一般診療所	0 (0.0%)	1 (8.3%)	2 (10.5%)	2 (14.3%)	5 (10.0%)
在宅療養支援診療所	0 (0.0%)	1 (8.3%)	2 (10.5%)	2 (14.3%)	5 (10.0%)
歯科診療所	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
薬局	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)
訪問看護ステーション	0 (0.0%)	2 (16.7%)	3 (15.8%)	2 (14.3%)	7 (14.0%)
介護保険施設	0 (0.0%)	2 (16.7%)	3 (15.8%)	2 (14.3%)	7 (14.0%)
居宅介護支援事業所	3 (60.0%)	3 (25.0%)	3 (15.8%)	2 (14.3%)	11 (22.0%)
訪問介護事業所	1 (20.0%)	1 (8.3%)	2 (10.5%)	2 (14.3%)	6 (12.0%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	1 (7.1%)	2 (4.0%)
合計	5 (100.0%)	12 (100.0%)	19 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

◆有料老人ホーム

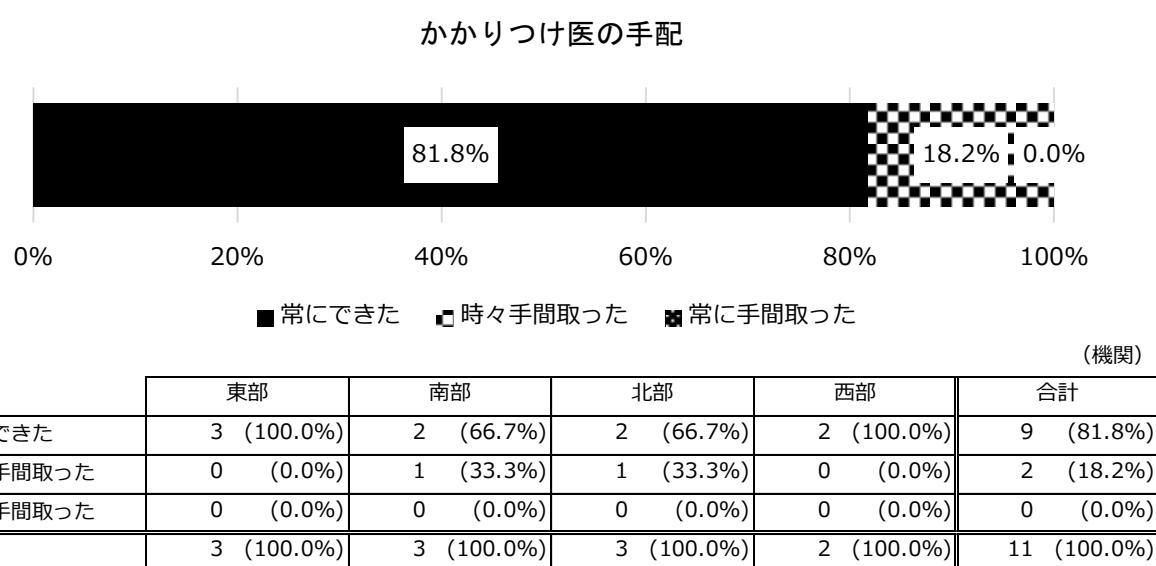
◆サ高住

4 転院となる場合、転院先はすぐに手配できましたか。(n=11)



	平成26年度	平成27年度
常にできた	1 (9.1%)	1 (9.1%)
時々手間取った	8 (72.7%)	9 (81.8%)
常に手間取った	2 (18.2%)	1 (9.1%)
合計	11 (100.0%)	11 (100.0%)

5 紹介元のかかりつけ医に戻る場合、スムーズに手配できましたか。(n=11)



6 在宅医の通院治療を受ける場合、通院先はすぐに見つけられましたか。(n=11)

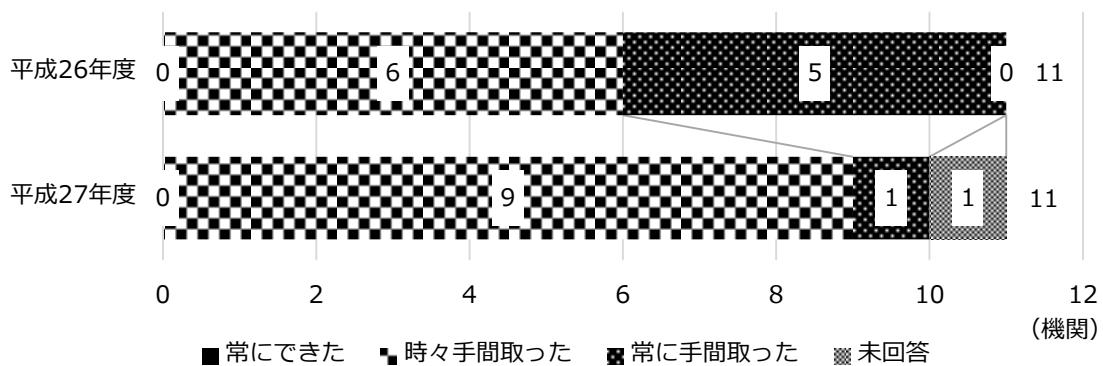
在宅医の通院先



	東部	南部	北部	西部	合計
常にできた	1 (33.3%)	3 (100.0%)	1 (33.3%)	2 (100.0%)	7 (63.6%)
時々手間取った	2 (66.7%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)
常に手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (100.0%)	11 (100.0%)

7 施設等への入所となる場合、入所先はすぐに手配できましたか。(n=11)

施設等入所先の手配 平成 26、27 年度の比較



	平成26年度	平成27年度
常にできた	0 (0.0%)	0 (0.0%)
時々手間取った	6 (54.5%)	9 (81.8%)
常に手間取った	5 (45.5%)	1 (9.1%)
未回答	0 (0.0%)	1 (9.1%)
合計	11 (100.0%)	11 (100.0%)

III 後方支援病床の確保について

病院

1 緊急時に後方支援病院として在宅患者の受け入れをしていますか。 (n=10)

在宅患者の受け入れ

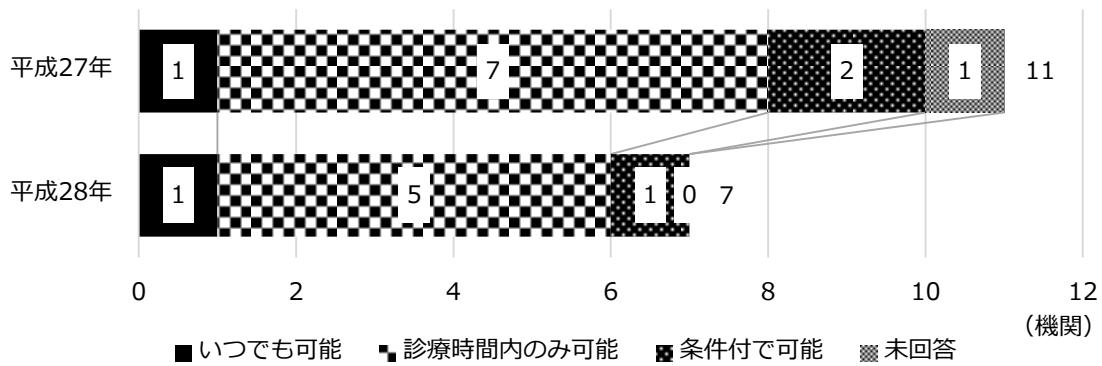


					(機関)
	東部	南部	北部	西部	合計
している	2 (66.7%)	2 (66.7%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)	7 (70.0%)
していない	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)
合計	3 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	10 (100.0%)

III-1で「している」と回答された病院

2 在宅患者の救急受入時間についてお答えください。 (n=7)

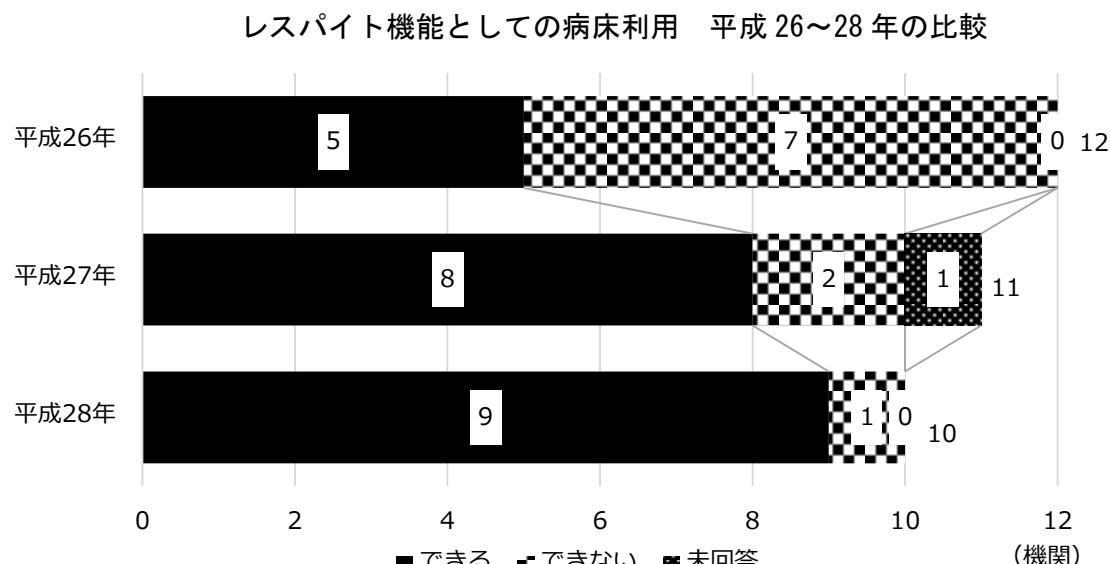
在宅患者の救急受入時間 平成 27、28 年の比較



	平成27年	平成28年
いつでも可能	1 (9.1%)	1 (14.3%)
診療時間内のみ可能	7 (63.6%)	5 (71.4%)
条件付で可能	2 (18.2%)	1 (14.3%)
未回答	1 (9.1%)	0 (0.0%)
合計	11 (100.0%)	7 (100.0%)

平成 28 年のアンケートで「条件付で可能」と回答された医療機関による自由意見
◆当院で対応できる場合

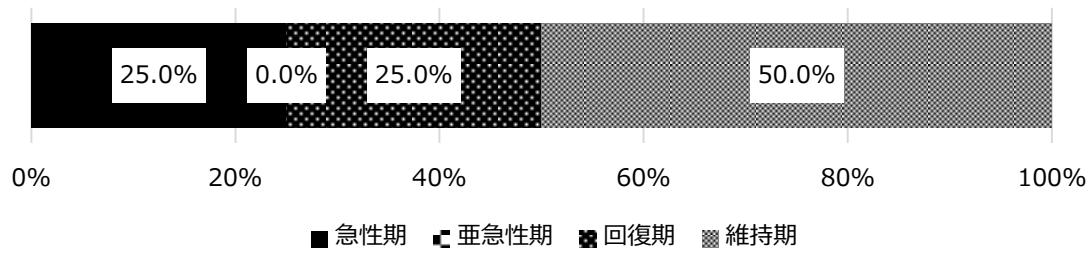
3 空床があれば、レスパイト機能としての病床利用ができますか。(n=10)



	平成26年	平成27年	平成28年
できる	5 (41.7%)	8 (72.7%)	9 (90.0%)
できない	7 (58.3%)	2 (18.2%)	1 (10.0%)
未回答	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)
合計	12 (100.0%)	11 (100.0%)	10 (100.0%)

4 今後の病床の届出予定についてお答えください。

病床届出予定



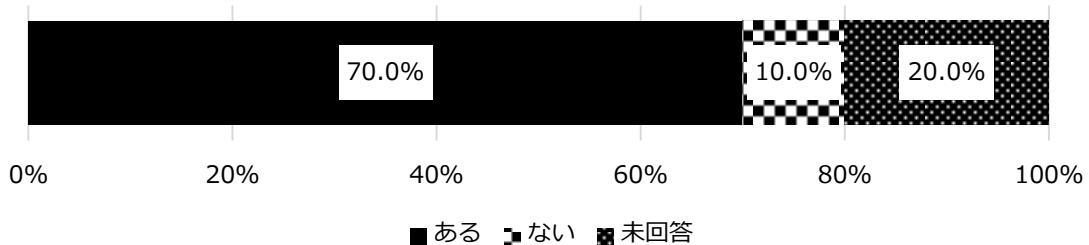
(機関)					
	東部	南部	北部	西部	合計
急性期	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (25.0%)
亜急性期	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回復期	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	3 (25.0%)
維持期	2 (50.0%)	2 (50.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	6 (50.0%)
合計	4 (100.0%)	4 (100.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	12 (100.0%)

※ 本設問は、单一回答ですが、複数回答された医療機関に関しても、そのまま集計しています。

5 今後、在宅療養後方支援病院としてバックベッドの確保が必要になります。急性期病院に入院するまでもないが、在宅では治療が困難な患者さんの入院が可能なシステムを構築したいと思っています。

このシステムに参加の意思がありますか。(n=10)

在宅では治療が困難な患者さんの入院可能なシステムへの参加の意思



					(機関)					
		東部	南部	北部	西部	合計				
ある	1	(33.3%)	2	(66.7%)	2	(100.0%)	2	(100.0%)	7	(70.0%)
	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)
ない	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(20.0%)
未回答		(33.3%)	(33.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (20.0%)	
合計		3 (100.0%)		3 (100.0%)		2 (100.0%)		2 (100.0%)		10 (100.0%)

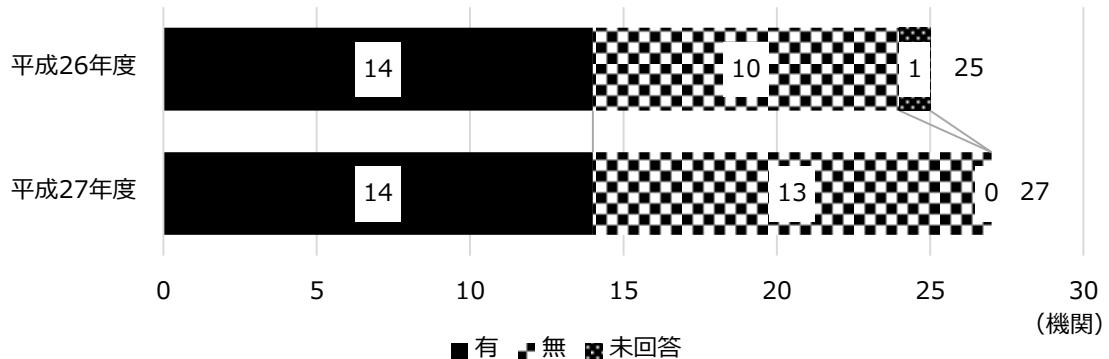
アピールポイント

- ◆リハビリテーション。骨折等の高齢者の年間治療も可能です
- ◆当院は、急性期、回復期、療養病床があり、患者の状態に応じて対応ができます。また、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業者が併設されており、在宅への移行も支援できます
- ◆在宅から継続した医療の提供ができます
- ◆回復期リハビリ併設のため、在宅復帰に重点をおいて行っています

I-2で「訪問診療をしている」「往診をしている」と回答された診療所

6 急性疾患の発生や急性増悪により、在宅患者を救急搬送したことはありますか。(n=27)

在宅患者の救急搬送 平成26、27年度の比較

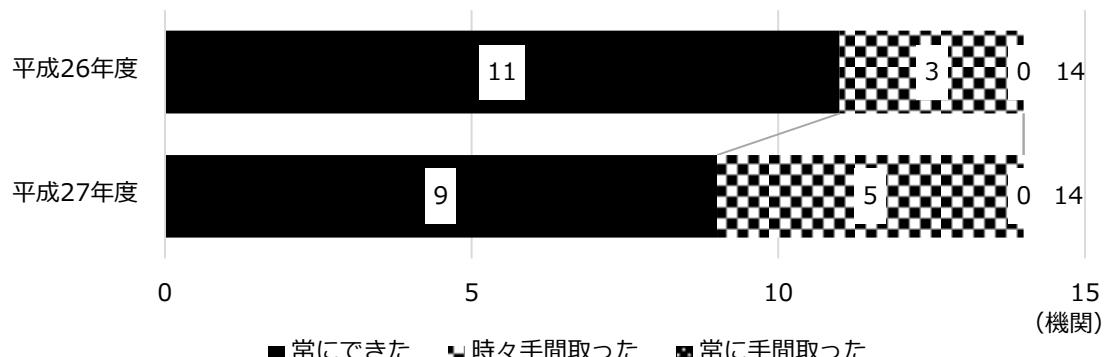


	(機関)	
	平成26年度	平成27年度
有	14 (56.0%)	14 (51.9%)
無	10 (40.0%)	13 (48.1%)
未回答	1 (4.0%)	0 (0.0%)
合計	25 (100.0%)	27 (100.0%)

III-6で「有」と回答された診療所

7 救急搬送先はすぐに手配できましたか。(n=14)

救急搬送の手配 平成26、27年度の比較

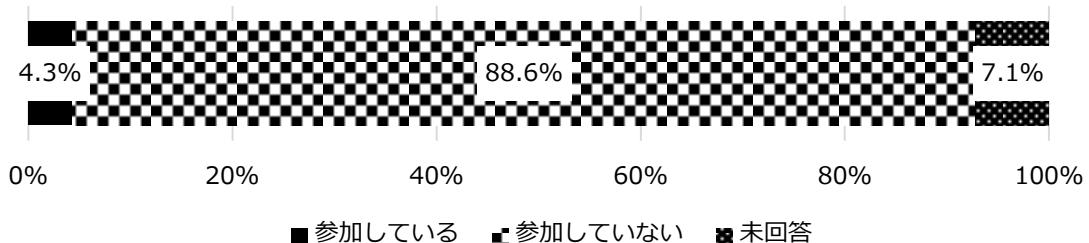


	(機関)	
	平成26年度	平成27年度
常にできた	11 (78.6%)	9 (64.3%)
時々手間取った	3 (21.4%)	5 (35.7%)
常に手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	14 (100.0%)	14 (100.0%)

IV 地域包括ケアについて 診療所

1 病院が実施する退院前カンファレンスに参加していますか。(n=70)

退院前カンファレンスへの参加

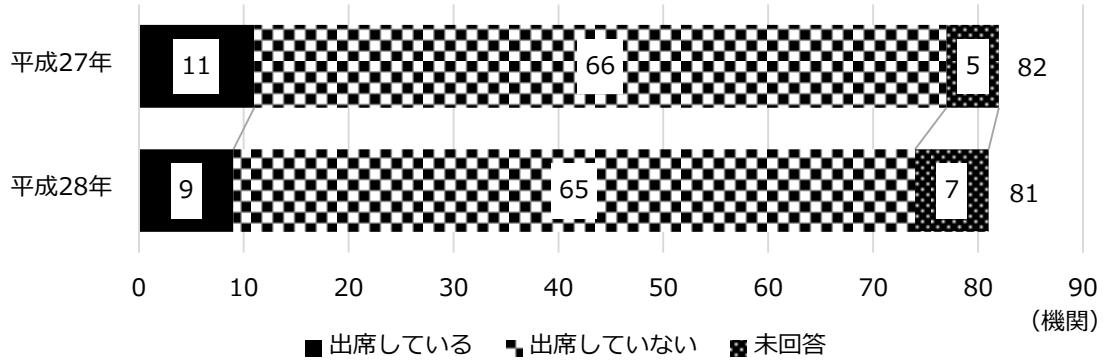


	(機関)				合計
	東部	南部	北部	西部	
参加している	1 (5.3%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	3 (4.3%)
参加していない	18 (94.7%)	16 (80.0%)	15 (88.2%)	13 (92.9%)	62 (88.6%)
未回答	0 (0.0%)	3 (15.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	5 (7.1%)
合計	19 (100.0%)	20 (100.0%)	17 (100.0%)	14 (100.0%)	70 (100.0%)

病院・診療所

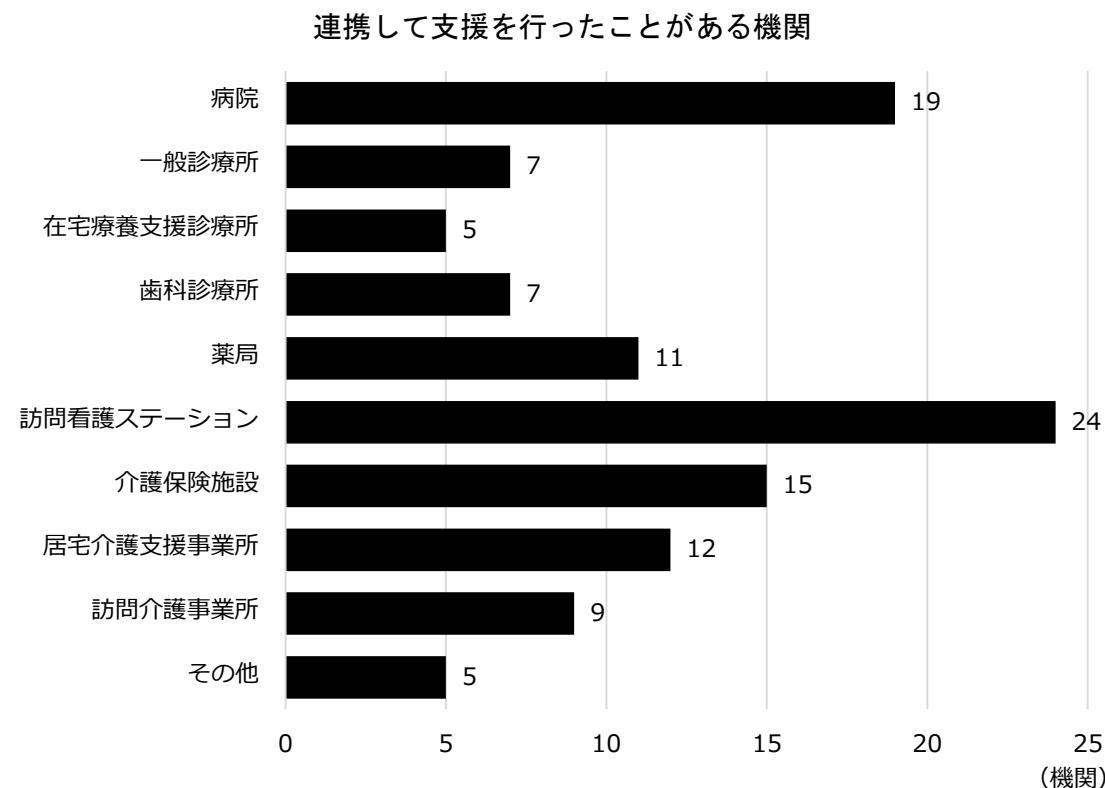
2 サービス担当者会議に主治医として出席していますか。(n=81)

サービス担当者会議への主治医としての出席 平成27、28年の比較



	平成27年	平成28年
出席している	11 (13.4%)	9 (11.1%)
出席していない	66 (80.5%)	65 (80.2%)
未回答	5 (6.1%)	7 (8.6%)
合計	82 (100.0%)	81 (100.0%)

3 連携して支援を行ったことがある機関はどこですか。(複数回答可)

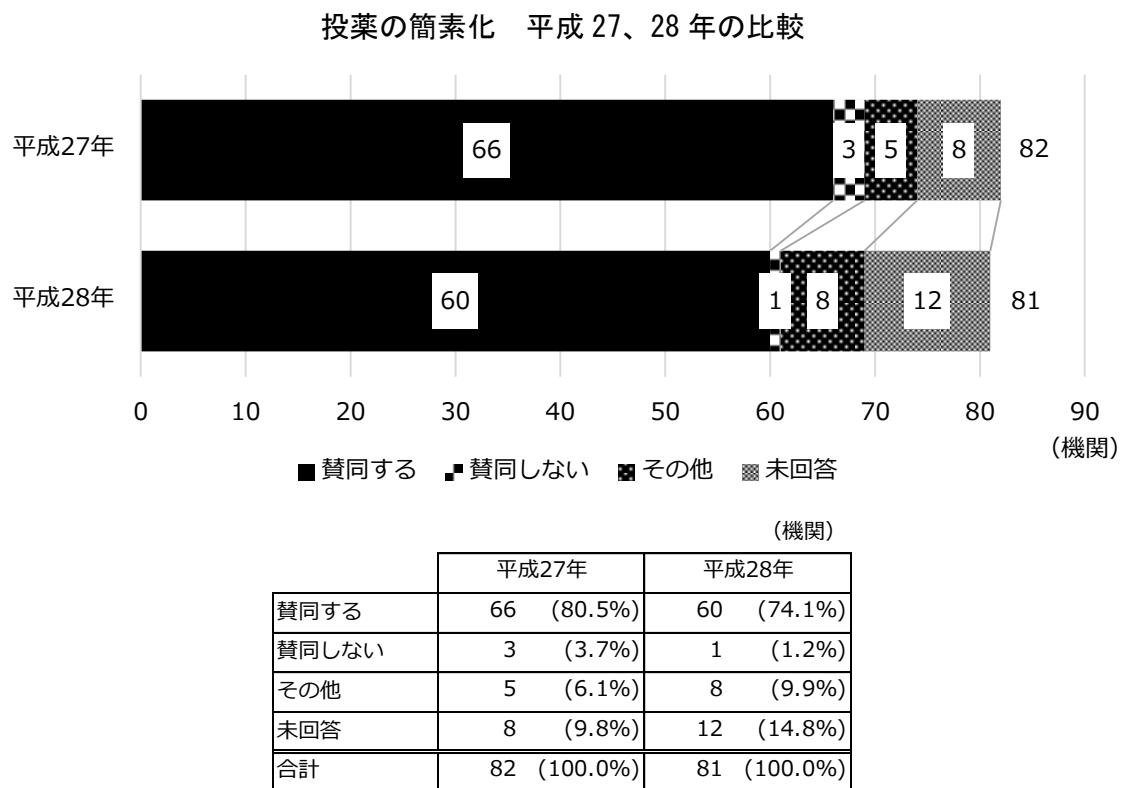


	(機関)				
	東部	南部	北部	西部	合計
病院	5 (11.4%)	4 (16.7%)	5 (26.3%)	5 (18.5%)	19 (16.7%)
一般診療所	4 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	1 (3.7%)	7 (6.1%)
在宅療養支援診療所	3 (6.8%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	1 (3.7%)	5 (4.4%)
歯科診療所	3 (6.8%)	1 (4.2%)	1 (5.3%)	2 (7.4%)	7 (6.1%)
薬局	4 (9.1%)	3 (12.5%)	1 (5.3%)	3 (11.1%)	11 (9.6%)
訪問看護ステーション	9 (20.5%)	5 (20.8%)	3 (15.8%)	7 (25.9%)	24 (21.1%)
介護保険施設	5 (11.4%)	4 (16.7%)	2 (10.5%)	4 (14.8%)	15 (13.2%)
居宅介護支援事業所	6 (13.6%)	3 (12.5%)	2 (10.5%)	1 (3.7%)	12 (10.5%)
訪問介護事業所	5 (11.4%)	1 (4.2%)	1 (5.3%)	2 (7.4%)	9 (7.9%)
その他	0 (0.0%)	3 (12.5%)	1 (5.3%)	1 (3.7%)	5 (4.4%)
合計	44 (100.0%)	24 (100.0%)	19 (100.0%)	27 (100.0%)	114 (100.0%)

◆高齢者住宅

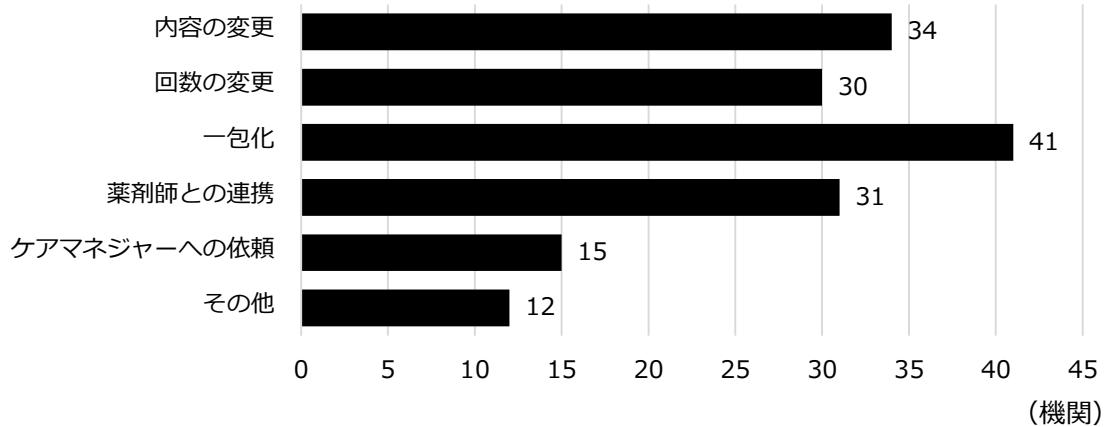
◆特別養護老人ホーム

4 包括ケアの医療は「患者の生活を支える」考え方に基づいており、多職種が投薬の介助・見守りをすることが必要となります。内服を確実にする（多重投与及び飲み忘れなどを防止）ために、投薬の内容や回数をできるだけ簡素化することが望まれます。この考え方についてどう思われますか。（n=81）



5 内服を確実にするために実施していることは何ですか。(複数回答可)

内服を確実にするために実施していること

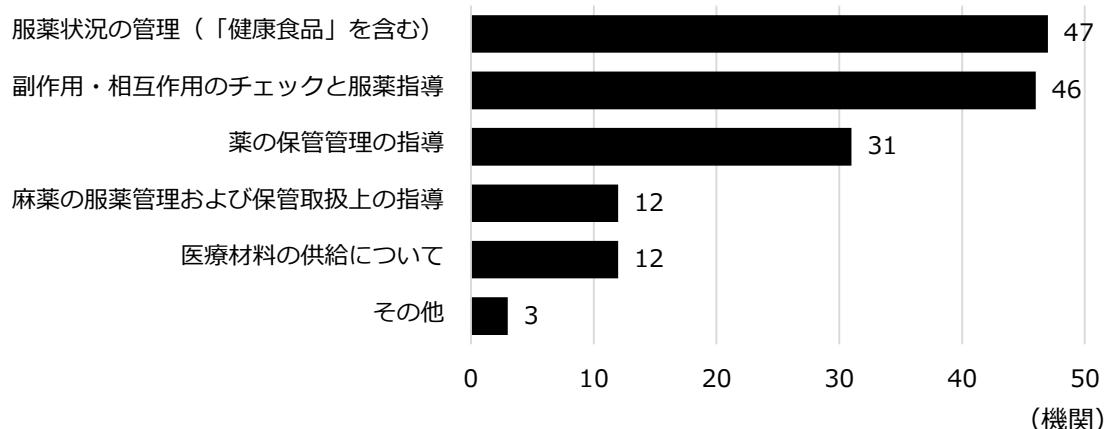


	東部	南部	北部	西部	合計
内容の変更	12 (26.1%)	6 (16.7%)	9 (21.4%)	7 (17.9%)	34 (20.9%)
回数の変更	7 (15.2%)	8 (22.2%)	7 (16.7%)	8 (20.5%)	30 (18.4%)
一包化	13 (28.3%)	8 (22.2%)	11 (26.2%)	9 (23.1%)	41 (25.2%)
薬剤師との連携	9 (19.6%)	8 (22.2%)	8 (19.0%)	6 (15.4%)	31 (19.0%)
ケアマネジャーへの依頼	4 (8.7%)	4 (11.1%)	3 (7.1%)	4 (10.3%)	15 (9.2%)
その他	1 (2.2%)	2 (5.6%)	4 (9.5%)	5 (12.8%)	12 (7.4%)
合計	46 (100.0%)	36 (100.0%)	42 (100.0%)	39 (100.0%)	163 (100.0%)

- | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------|
| ◆訪問看護時に服薬状況確認が大切
◆薬をもらう薬局をひとつにまとめる
◆特にありません | ◆訪問看護への依頼
◆内服時間の変更
◆現在行っていない | ◆家族、介助者への依頼
◆カレンダーの活用 |
|---|------------------------------------|--------------------------|

6 院外薬局との連携により充実したい内容は何か。(複数回答可)

院外薬局との連携により充実したい内容

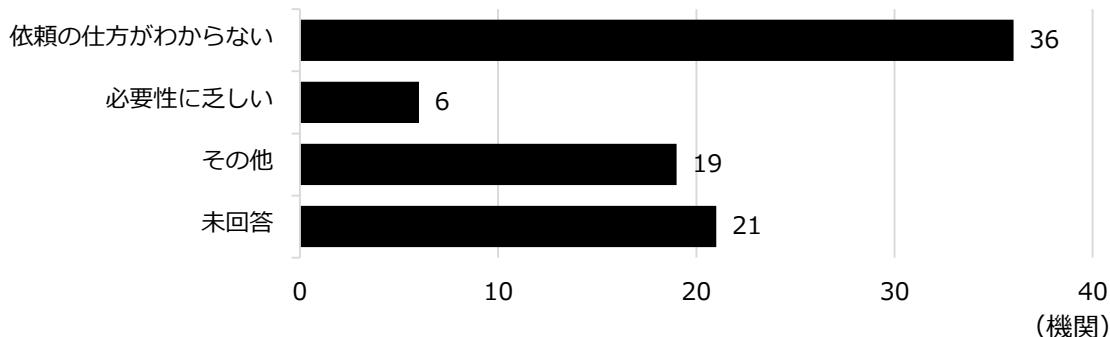


	東部	南部	北部	西部	合計
服薬状況の管理（「健康食品」を含む）	13 (29.5%)	10 (38.5%)	14 (32.6%)	10 (26.3%)	47 (31.1%)
副作用・相互作用のチェックと服薬指導	14 (31.8%)	7 (26.9%)	12 (27.9%)	13 (34.2%)	46 (30.5%)
薬の保管管理の指導	10 (22.7%)	6 (23.1%)	9 (20.9%)	6 (15.8%)	31 (20.5%)
麻薬の服薬管理および保管取扱上の指導	5 (11.4%)	2 (7.7%)	3 (7.0%)	2 (5.3%)	12 (7.9%)
医療材料の供給について	2 (4.5%)	0 (0.0%)	4 (9.3%)	6 (15.8%)	12 (7.9%)
その他	0 (0.0%)	1 (3.8%)	1 (2.3%)	1 (2.6%)	3 (2.0%)
合計	44 (100.0%)	26 (100.0%)	43 (100.0%)	38 (100.0%)	151 (100.0%)

- ◆かかりつけ薬局の推進
- ◆院内処方です
- ◆家人への指導および連携

7 地域包括ケアにおいて、嚥下機能をはじめ、口腔ケアは、重要な役割を占めます。しかし、訪問歯科診療や訪問歯科衛生指導の依頼は、十分とはいえません。何が原因と思われますか。

訪問歯科診療・訪問歯科衛生指導の依頼が十分でない原因



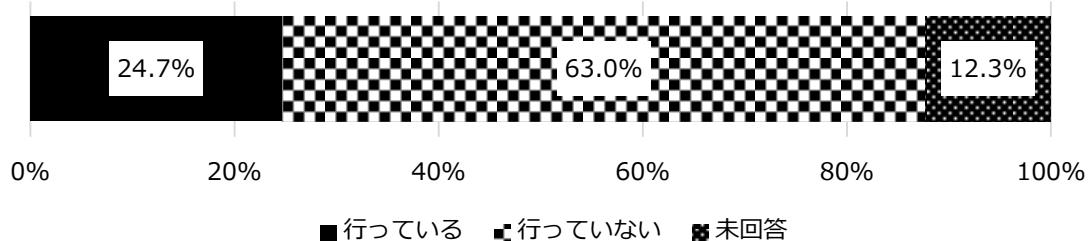
	東部	南部	北部	西部	合計
依頼の仕方がわからない	9 (39.1%)	7 (30.4%)	11 (55.0%)	9 (56.3%)	36 (43.9%)
必要性に乏しい	2 (8.7%)	1 (4.3%)	1 (5.0%)	2 (12.5%)	6 (7.3%)
その他	6 (26.1%)	6 (26.1%)	4 (20.0%)	3 (18.8%)	19 (23.2%)
未回答	6 (26.1%)	9 (39.1%)	4 (20.0%)	2 (12.5%)	21 (25.6%)
合計	23 (100.0%)	23 (100.0%)	20 (100.0%)	16 (100.0%)	82 (100.0%)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆歯科での受入れ可否が不明 ◆訪問歯科診療や訪問歯科衛生指導を行う人が少ない ◆あまり口腔内を診ていないため、注意していない ◆口腔ケアは必要である ◆行っている ◆不詳 ◆回答不可 ◆わかりません | <ul style="list-style-type: none"> ◆依頼できる先生が少ないと思われる ◆活動してみえる歯科の先生が少ない? ◆口腔での訴えがない ◆必要に応じて依頼できている ◆知識不足 ◆やっていないので ◆判断できない |
|--|--|

※ 本設問は、单一回答ですが、複数回答された医療機関に関しても、そのまま集計しています。

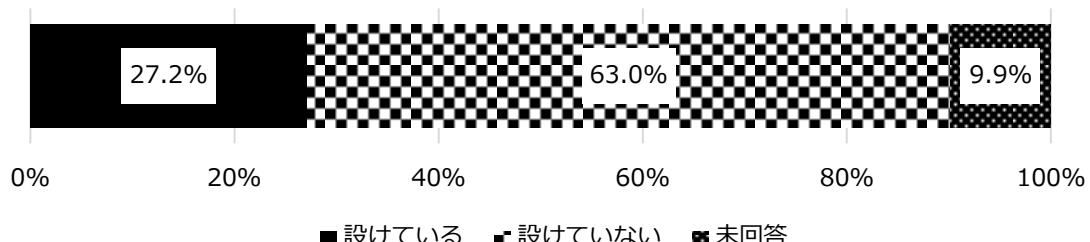
8 貴院は、介護施設への協力をしていますか。(例：定期健診、相談対応など) (n=81)

介護施設への協力



9 職員が在宅医療・介護に関する研修に参加する機会を設けていますか。(n=81)

職員の在宅医療・介護に関する研修への参加の機会



	東部	南部	北部	西部	合計
設けている	7 (31.8%)	3 (13.0%)	5 (25.0%)	7 (43.8%)	22 (27.2%)
設けていない	14 (63.6%)	14 (60.9%)	15 (75.0%)	8 (50.0%)	51 (63.0%)
未回答	1 (4.5%)	6 (26.1%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	8 (9.9%)
合計	22 (100.0%)	23 (100.0%)	20 (100.0%)	16 (100.0%)	81 (100.0%)

V 自由意見

- ◆多職種研修会で、外部講師を依頼する際は、必ず医師会の許可をとつてから行動してほしい。
エビデンスのない自由奔放な講師を呼んでも、混乱を招く危険あり。豊川市の地域包括ケアを発展していくためには、的確な講師の選択が必要です
- ◆介護施設（サ高住、有料老人 H、グループホーム etc.）への訪問診療が増えつつありますが、看護師さんがいない（不足）ことがあり、誰に病状 etc.共有したら良いのか不明なことがあります。どこの施設でも、看護師さんはキーパーソンになると思います
- ◆現在行っている往診は、以前から治療している患者さんが急変したとき、また、家族から診察を希望されたときに行っています。私が診察を続けている間は、今のような形式で往診をしたいと考えています
- ◆在宅医療または往診などは、今後縮小および中止方向にしていきます。当院規模（人員、医師年齢など）
- ◆在宅医療の始め方についての講習会を開いてほしい
- ◆当院のみで在宅医療を行うには困難なので、可能なら往診などを多く行っている医療機関に（休診日などに、私がそちらの医療機関へ行きますので、医師のアルバイトのようなかたちで参加させていただけたらとも思う）行って、勉強させてほしい（給与などはなくても良いです。当院で、在宅医療を行うことは、この先も一人ではできないと思うから）
- ◆9月8日に実施される在宅医療実施医師と訪問看護師との意見交換会の聴講を希望しましたが、却下されました。非常に残念なことです ⇒ 参加となりました
- ◆在宅を行っていないので、返答不可項目が多数あり、申し訳ございません